



# 議会だより

令和元年5月1日



気持ち良く泳ぐこいのぼり(役場駐車場)

## 主 な 内 容

	ページ
3月定例会の概要.....	2~8
一般質問 .....	9~13
政務活動報告 .....	14
声<こえ>私のいいたいこと.....	15
議会日誌・表彰・編集室 .....	16

□編集/芳賀町議会広報常任委員会

□発行/芳賀町議会

〒321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020

電話 028(677)6023 FAX 028(677)6057

芳賀町議会ホームページ

<http://www.town.tochigi-haga.lg.jp/menu/torikumi/gikai/index.html>

# 可決

## 第1回 芳賀町議会 定例会

### 特別会計45億4,210万円

#### 定例会の要

平成31年第1回芳賀町議会定例会が3月4日から15日までの12日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受けました。一般質問は第3日目に行われ、4人の議員が町政について質問しました。第4日目に平成31年度予算を除く議案の質疑・討論・採決を行いました。第8日目に平成31年度予算の質疑を行った後、予算の審査を常任委員会に付託しました。最終日に平成31年度予算を原案どおり可決し、閉会しました。

### 躍動する芳賀の町 未来につなげよう

平成31年度の予算総額は132億9210万円、前年度に比べ15億650万円の増となりました。

一般会計歳入歳出の総額は87億5000万円で、前年度に比べ13億円の増、特定の事業を行うために一般会計と区別して経理される特別会計歳入歳出の予算総額は、45億4210万円で、前年度に比べ2億650万円の増となりました。

歳入の根幹をなす町税は、企業の業績が良好であることから法人町民税の増収および、企業の設備投資の増加による固定資産税も増収の見込みです。

歳出は、LRT整備事業を本格的に進めるために14億8500万円の事業費を計上しました。また、祖母井中央地区整備、芳賀第2工業団地整備、町道三日市・宮田線道路改良についても事業の早期完了を目指します。また、こども医療費の現物給付や地域活動の支援、交通安全対策強化など、町民の安全安心につながる施策への配分を行いました。

本年度は、「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を将来像とする第6次芳賀町振興計画及び芳賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略の4年目となり、将来像実現のために実施してきたさまざまな取り組みの総仕上げの年となります。

■平成31年度各会計予算

会計名		予算額
一般会計		87億5,000万円
特別会計	国民健康保険	19億1,500万円
	後期高齢者医療	1億6,700万円
	介護保険（保険事業勘定）	14億8,550万円
	介護保険（介護サービス事業勘定）	520万円
	芳賀工業団地排水処理センター	5,740万円
	公共下水道事業	3億1,600万円
	農業集落排水事業	1億8,300万円
	宅地造成事業	4億1,300万円
合計		132億9,210万円



# 平成31年度予算を

## 一般会計87億5,000万円

### 便利 をつなげる

#### LRT事業

道路改良工事、変電施設設備工事などを行います。

〔14億8,505万円〕

#### 祖陽が丘住宅団地

平成30年度に引き続き分譲を行います。

〔4億1,300万円〕

#### ひばりタクシー

芳賀赤十字病院への運行を開始します。

〔2,645万円〕

### 教育 をつなげる

#### イングリッシュキャンプ

対象を中学生に加え、小学生にも拡大し実施します。

〔35万円〕

#### ブレインジム・ワークショップ

運動を通じ心と体のバランスを整える効果を目的に各小学校で実施します。

〔14万円〕

#### 小中学校の環境整備

電子黒板の増台、教員およびパソコン教室のパソコンの入れ替えを行います。

〔3,029万円〕

### 笑顔 をつなげる

#### こども医療助成費

県内現物給付を中学生まで拡大します。

〔8,051万円〕

#### 子どもの居場所づくり

本年度から町社会福祉協議会に委託している本事業について、開催回数を増やします

〔34万円〕

#### 検診受診率向上支援事業

AIを活用し、特定検診の受診率向上を図ります。

〔230万円〕

平成31年度の主な  
5つの  
つなげる  
事業

### 話題 をつなげる

#### 北部第2地区ほ場整備事業

今年度中に事業採択を受ける見込みで、農業の効率化や競争力のある農業環境の整備を図ります。

〔1,546万円〕

#### GAP認証取得支援

国際水準GAP認定取得による農産物の品質向上や競争力強化への取り組みを支援します。

〔100万円〕

#### 多面的機能支払交付金事業

協議会を設立し、町内の農村環境整備を均一的、効率的に行います。

〔1億1,465万円〕

### 地域 をつなげる

#### 地域をつなげる事業補助金

自治会の活動を支援し地域活動のより一層の活性化を図るために拡充します。

〔370万円〕

#### 防災訓練の実施

平成30年度に引き続き、自主防災組織と町の合同防災訓練を実施します。

〔234万円〕

#### 交通安全対策の強化

交通安全施設(ガードレール、標識等)の整備(1,983万円)を拡充します。南小学校周辺の主要道路に歩道を整備(640万円)します。

# 平成31年第1回芳賀町議会定例会提出議案

## 条例制定

□芳賀町中小企業・小規模企業の振興に関する条例の制定について

中小企業・小規模企業の振興のため、基本理念を定め、町の責務等を明らかにし、施策の基本となる事項を定めることにより、施策を総合的に推進し、本町経済の健全な発展及び町民生活の向上に寄与することを目的として制定するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

## 条例改正

□芳賀町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

人事院規則の一部改正により、超過勤務命令の上限の設定等が規定され、

平成31年4月1日から適用されることから条例の一部を改正するもの。

主な内容は、正規の勤務時間以外の時間における勤務に関し、必要な事項を規則で定めることとするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町税条例の一部改正について

消費税率10%への引上げに併せて導入される軽自動車税の環境性能割は、当分の間、県が賦課徴収するため、軽自動車に係る非課税、課税免除及び減免について、県の自動車税の環境性能割の対象車両と整合を図るために規定を整備するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町国民健康保険税条例の一部改正について

現在、89万円の賦課限度額を平成30年度の国の基準に従い、基礎課税額を4万円引き上げ、後期高齢者支援金課税額と介護納付金課税額を据え置くことにより、93万円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町介護給付費準備基金条例の一部改正について

介護予防・日常生活支援総合事業が、保険給付から地域支援事業に移行したこと、介護保険給付費準備基金を介護保険基金と改め、保険給付及び地域支援事業の財源に充てることができるようにするため改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町道路占用料徴収条例の一部改正について

町は、国が国道に係る占用料を定める道路法施行令に準拠しつつ、県及び県内市町との均衡を図りながら額等を定めており、国及び県の改正に準じて改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町法定外公共物管理条例の一部改正について

町が管理する町道以外の道路及び水路を使用する場合の使用料の計算方法について、芳賀町道路占用料徴収条例と同様にするために改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

学校教育法の一部を

改正する法律」の施行に伴い、大学制度の中に、実践的な職業を行う新たな高等教育機関として、専門職大学が創設されることから、放課後児童支援員の資格要件に、専門職大学の前期課程の修了者を追加するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町光の道ネットワーク施設設備及び管理に関する条例の一部改正について

平成31年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げられることに伴い、利用料金を改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町ふるさと交流体験センター設置及び管理に関する条例の一部改正について

平成31年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げら

れることに伴い、利用料金を改正するもの。

れることに伴い、利用料金を改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町工業団地管理センター設置及び管理に関する条例の一部改正について

平成31年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げられることに伴い、利用料金を改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町工業団地体育館設置及び管理に関する条例の一部改正について

平成31年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げられることに伴い、利用料金を改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町商業集積地共同店舗設置及び管理に関する条例の一部改正について

平成31年10月1日から

消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げられることに伴い、利用料金を改正するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げられることに伴い、使用料を改正するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀工業団地排水処理センター設置及び管理に関する条例の一部改正について

□芳賀町B&G海洋センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

平成31年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げられることに伴い、使用料を改正するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

平成31年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が10%に引上げられることに伴い、利用料金を改正するもの。また、条文中の「使用料」等の文言を「利用料金」等へ修正するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町下水道条例の一部改正について

□芳賀町道路路線の廃止について

平成31年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げられることに伴い、使用料を改正するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

芳賀第2工業団地整備及び祖陽が丘団地整備に伴う路線の組み替えを行うため廃止するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

平成31年10月1日から

## 路線認定

□芳賀町道路路線の認定について

①路線を組み替え、芳賀第2工業団地へのアクセス性強化を図るため、廃止した路線の終点等を変更して再認定するもの。  
②祖陽が丘団地の整備に伴い、路線の組み替えを行うため、廃止した路線の終点等を変更して再認定するとともに、団地内に新たに整備された路線を町道として新たに認定

するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

## 契約変更

□工事請負契約の変更について

平成30年第3回定例会において議決した、芳賀変電所新築工事について、契約金額1億87万2000円から379万8000円を減額し、9708万1200円とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

## 指定

□指定管理者の指定について(芳賀温泉ロマンの湯)

芳賀温泉ロマンの湯の指定管理者に施設の設置目的、機能及び施設利用者の実態、また、これまでの指定管理実績を考慮し、芳賀町ロマン開発株式会社を指定するもの。  
**質疑** 水沼孝夫議員  
(討論なし、原案可決)

体的に管理運営を委託しており、指定管理実績を考慮し、芳賀町ロマン開発株式会社を指定するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□指定管理者の指定について(芳賀町工業団地管理センター)

芳賀工業団地管理センターの指定管理者に施設設置目的、機能及び施設利用者の実態、また、これまでの指定管理実績を考慮し、芳賀町工業団地管理センター管理組合を指定するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□指定管理者の指定について(友遊はが)

ふるさと交流センター「友遊はが」の指定管理者に施設の設置目的、機能及び施設利用者の実態、また、これまでの指定管理実績を考慮し、芳賀町ロマン開発株式会社を指定するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□指定管理者の指定について(芳賀町工業団地体育館)

芳賀町工業団地体育館の指定管理者に施設の設置目的、機能及び施設利用者の実態、また、これまでの指定管理実績を考慮し、芳賀町工業団地管理センター管理組合を指定するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□指定管理者の指定について(芳賀温泉健康センター)

芳賀温泉ロマンの湯に付随した建物であり、一



▲整備が進む祖陽が丘団地

□指定管理者の指定について  
(モテナス)

芳賀町商業集積地共同店舗「モテナス」の指定管理者に施設の設置目的、機能及び施設利用者の実態、また、これまでの指定管理実績を考慮し、芳賀町商工会を指定するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□指定管理者の指定について  
(なんとたかデイサービスセンター)

なんとたかデイサービスセンターの指定管理者にこれまでの指定管理実績を考慮し、はが野農業協同組合を指定するもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

規約変更

□芳賀地区広域行政事務組  
合規約の変更について

①芳賀地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更をするもの。  
主な内容は、芳賀地方ふるさと市町村圏計画を今後策定しないため、策定に係る事務を削除するもの。  
また、真岡市が設置する休日夜間急患診療所が休日夜間の初期救急医療を担うこととなるため、芳賀地区急患医療センターの業務を廃止するもの。

②芳賀地方ふるさと市町村圏基金に係る規定の変更をするもの。  
主な内容は、今後ふるさと市町村圏計画を策定しないことから、基金の設置目的を「広域的な地域振興事業の実施のため」とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

補正予算

□平成30年度芳賀町一般会計補正予算(第5号)

総額に2億5767万円9千円を追加し、予算総額を79億658万3千円とするもの。  
増渙さつき議員、岩村治雄議員、北條勲議員、小林一男議員、小林俊夫議員  
(討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

総額に8179万2千円を追加し、予算総額を19億8777万4千円とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

総額に33万7千円を追加し、予算総額を1億6209万3千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第4号)

総額から4351万4千円を減額し、予算総額を14億7002万9千円とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀工業団地排水処理センター特別会計補正予算(第1号)

総額から880万円を減額し、予算総額を5120万円とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

総額に200万円を追加し、予算総額を3億300万円とするもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

総額の増減はなく、歳

入予算を組み替えるもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)

総額の増減はなく、歳入予算を組み替えるもの。  
(質疑・討論なし、原案可決)

陳情

平成30年12月定例会において、教育民生常任委員会に付託され、継続審査としていた陳情について審査した結果、下記のとおりとなりました。

陳情名	陳情者	結果
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	移植ツーリズムを考える会	不採択

# 常任委員会予算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は平成31年度の予算の審査を付託され、3月11日から13日まで各課の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、3月15日の本会議において意見を付して予算を認定しました。

	付 託 内 容
総務常任委員会	・一般会計予算中、他の常任委員会の所管に属さないすべての歳入歳出
教育民生常任委員会	・一般会計予算中、教育民生常任委員会の所管に属する歳入歳出 ・国民健康保険特別会計 ・後期高齢者医療特別会計予算歳入歳出 ・介護保険特別会計予算歳入歳出
産業建設常任委員会	・一般会計予算中、産業建設常任委員会の所管に属する歳入歳出 ・芳賀工業団地排水処理センター特別会計予算歳入歳出 ・公共下水道事業特別会計予算歳入歳出 ・宅地造成事業特別会計予算歳入歳出

## 総務常任委員会

委員長 大島 浩 副委員長 大根田 弘  
委員 石川 保 委員 北條 勲



▲会計課書類審査



▲税務課書類審査



▲企画課書類審査



▲農業者トレーニングセンター調理室



▲旧稲毛田小学校



▲旧稲毛田小学校教室

### □書類審査 (3月12日)

総務課、企画課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員事務局

### □現地調査 (3月13日)

農業者トレーニングセンター調理室、旧稲毛田小学校

### □審査の意見または特に留意すべき事項

平成30年4月1日現在の本町の正職員数は155人となっている。

一方、臨時職員・嘱託職員は、一般事務補助員や介護認定調査員、保育士、司書、学習指導助手、学芸員などで65人を雇用する状況にある。

多様化する行政需要に対応し、行政サービスの向上を図るためには、それぞれの部署の業務量に見合った職員の配置が求められるが、現実には職員不足の感は否めない。

については、各部署の業務の内容等を再検証した上で、必要となる正職員数を適切に算出し、その確保に努力されたい。

## 教育民生常任委員会

委員長 水沼 孝夫 副委員長 岡田 年弘  
委員 小林 隆志 委員 岩村 治雄 委員 増渕さつき



▲住民課書類審査



▲健康増進課書類審査



▲生涯学習センター



▲総合情報館



▲町民会館空調設備



▲芳賀北小学校電子黒板

### □書類審査 (3月11日、12日)

住民課、健康増進課、福祉対策課、環境対策課、こども育成課、生涯学習課

### □現地調査 (3月13日)

総合情報館、環境対策課看板確認、町民会館、生涯学習センター、芳賀北小学校

### □審査の意見または特に留意すべき事項

(1) 「文化の香り高いまち」をめざし、町民の文化の発信基地としての総合情報館の役割を再認識し、町民の作品発表・展示の機会を狭めることのないよう配慮されたい。

(2) 資源循環型の社会を構築するため、引き続き「環の町芳賀」の各施策を推進し、今後は転入者や高齢者等の対象を絞ったより具体的なごみ減量化の啓発に努められたい。

## 産業建設常任委員会

委員長 小林 信二 副委員長 小林 俊夫  
委員 杉田貞一郎 委員 小林 一男 委員 大根田周平



▲商工観光課書類審査



▲都市計画課書類審査



▲LRT整備 (道路拡張工事予定地)



▲荒屋敷唐桶線改良工事現場



▲食肉センター建設現場



▲道の駅はが遊具

### □書類審査 (3月12日)

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

### □現地調査 (3月13日)

食肉センター建設現場、道の駅遊具修繕・看板工事、LRT (変電施設整備・道路拡張工事)、荒屋敷唐桶線改良工事、打越新田ほ場整備

### □審査の意見または特に留意すべき事項

(1) 平成31年度は第6次振興計画の4年目にあたり、LRT整備事業、祖母井中央地区整備事業、北部第2地区ほ場整備事業、芳賀第2工業団地整備事業、地籍調査事業等が本格的に実施される。これら事業を円滑に推進するため、専門的知識を有する職員の配置や職員を増員されたい。

(2) 温泉センターのESCO事業、ふるさと交流体験センターの管理運営について費用対効果を検証されたい。

(3) 町道総延長約500kmに対して、平成31年度の改修予定はごくわずかである。道路インフラは、住民生活にとって生命線であり、改修箇所を厳選した維持管理に努められたい。

# ここが聞きたい 4人の議員が一般質問

一般  
質問

第3日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。



北條 勲 議員 (10ページ)

- ① 体育館のエアコン設置について
- ② 結婚新生活支援について



水沼 孝夫 議員 (11ページ)

- ① 北部第2地区及び稲毛田地区ほ場整備事業について



増淵 さつき 議員 (12ページ)

- ① 定住促進事業について
- ② 地域おこし協力隊について
- ③ 総合情報館博物館運営事業について



岡田 年弘 議員 (13ページ)

- ① サイクリングロードの整備及び河川提塘管理について

## 一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は6月10日からの予定です〉

## みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

### — 放映時間 —

会議当日	午後8時から
再放送	翌日の午後2時から



北條 勲 議員

## 体育館のエアコン設置について

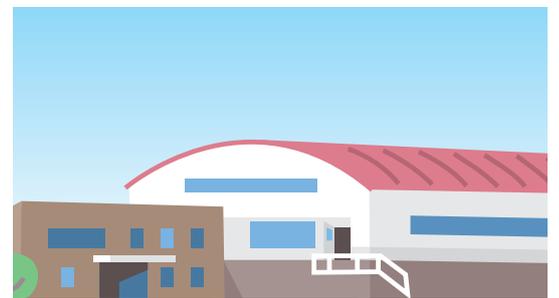
**問** 公共施設でエアコンが無いのは体育館だけである。熱中症から子どもを守るためにも、災害時の避難所として使用するためにも設置すべきでは。

**答** 教育長 熱中症の危険度が高い場合は、体育館や屋外での活動を制限や中止しています。体育館内の空間容積が大きいのと断熱も必要のため工事費や維持管理費に膨大な費用を要しますので設

置は考えていません。参考には東京都世田谷区は天井を断熱性にし、業務用4台、天井に扇風機を設置し風を送る装置で3000万円程度である。災害はいつ来るかわからない。小中学校が災害時の避難所になっているが具体的には体育館なのか教室なのか。

**問** 谷区は天井を断熱性にし、業務用4台、天井に扇風機を設置し風を送る装置で3000万円程度である。災害はいつ来るかわからない。小中学校が災害時の避難所になっているが具体的には体育館なのか教室なのか。

**答** 総務課長 体育館で間に合わない場合は、エアコンがある普通教室も考えられま



す。

災害の内容によって、避難場所を指定します。

**問** 災害時に体育館用移動式エアコンレンタルがあり、設置するより安価に出来る。避難所の環境づくりに対応はできないか。

**答** 総務課長 有事の際には有効な手段だと思しますので勉強します。

## 結婚新生活支援について

**問** 若者の希望する結婚に伴う経済的負担を軽減する結婚新生活支援があり、当町も実施すべきでは。

**答** 町長 合計特殊出生率の向上に効果が期待できると思われ

ます。制度の導入については、実施市町の実績や他の制度を含め総合的に判断します。

**問** 町の合計特殊出生率1.9とあるが、実際には5年間の平均は1.48である。町の計画も現実にあつた数字にすべきでは。

**答** 企画課長 平成31年度末に合計特殊出生率1.61を実現可能な数値目標とし、達成に向け政策を展開します。



# 北部第2地区及び稲毛田地区ほ場整備について

## 一般質問



水沼 孝夫 議員

**問** 見目町長就任以来急速に進められてきた、北部第2地区ほ場整備事業に29億7000万円、稲毛田地区ほ場整備事業に2億7300万円、計32億4300万円のLRT事業に匹敵する莫大な費用がかかる。特に北部第2地区ほ場整備事業は、芳賀町の中心市街地である祖母井地区の唯一の住居系市街化区域を取り囲むように計画されている。今後の

町の発展に悪影響を及ぼす可能性があり、慎重な計画のもとに実施しなければならない。費用対効果について伺う。

**答** **町長** 事業完了後40年間に耐用年数を迎える関連事業を含めた再整備費等を加えた合計34億5000万円を総費用としていきます。総便益は43億5000万円と計算しています。事業費を総便益で割ると1.26となり、費用を掛けた分の1.26倍の経済効果が見込めます。

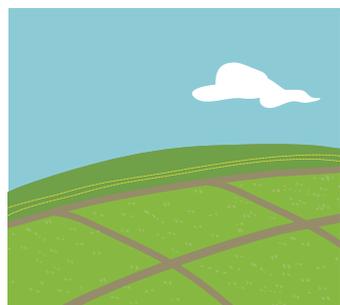
**問** ほ場整備事業に29億7000万円国が50%、県が30%、町が125%を支出する。地元負担金は75%の2億2275万円になる。これを非農用地として

町が買い上げる費用と交付金を事業に充てることで、地元受益者負担金をなしとすると、町の負担額125%と合わせて約6億円もの負担が発生する。町が非農用地を買い上げた費用はどこにいくのか説明を伺う。

**答** **農政課長** 国の補助金制度を有効に活用し、地元負担金が少なくなるよう検討していきます。非農用地を買い上げた費用は土地改良区、地区委員会の収入となります。農家の土地を公共用地として使うので、受益者の所属する地区に配分されます。

**問** 地元負担の分をなくすための非農用地買い上げであれば理解はできるが、100%補助金を分配するのはいかがなものか。また、米余りで無理に土地改良をしても農地を拡大していく理由が解らない。本来の農業政策として優良農地で本当は主食用米をつくって等級の高いお米を生産していかなければならない。ところが、巨費を投じた優良農地で飼料用米を生産している。飼料用米の買い取り価格が1俵当たり1300円程度と聞いている。その1300円に9割もの補助金を乗せて1万3000円で買い取る国の行政もいかがなものか。何のための土地改良なのか伺う。

**答** **町長** 特に北部第2地区は、大規模農家より土地持ち非農家が非常に多いのが現状です。今後、認定農業者等の担い手へ農地の集積をしていく中で大きな区画にしないと効率的な作業ができないため、そのまま放置してしまうと借り手がつかず、土地持ち非農家が困ってしまいます。また町内では、飼料用米の他にもホールクロップサイレージ（稲発酵粗飼料）等の作付けもしており、大きな機械を水田に入れて作業することから、土地改良をし大きな区画にしていく必要があります。



助金を分配するのはいかがなものか。また、米余りで無理に土地改良をしても農地を拡大していく理由が解らない。本来の農業政策として優良農地で本当は主食用米をつくって等級の高いお米を生産していかなければならない。ところが、巨費を投じた優良農地で飼料用米を生産している。飼料用米の買い取り価格が1俵当たり1300円程度と聞いている。その1300円に9割もの補助金を乗せて1万3000円で買い取る国の行政もいかがなものか。何のための土地改良なのか伺う。

**答** **町長** 特に北部第2地区は、大規模農家より土地持ち非農家が非常に多いのが現状です。今後、認定農業者等の担い手へ農地の集積をしていく中で大きな区画にしないと効率的な作業ができないため、そのまま放置してしまうと借り手がつかず、土地持ち非農家が困ってしまいます。また町内では、飼料用米の他にもホールクロップサイレージ（稲発酵粗飼料）等の作付けもしており、大きな機械を水田に入れて作業することから、土地改良をし大きな区画にしていく必要があります。



増洲 さつき 議員



▲祖陽が丘分譲のチラシ

## 町の定住促進事業 町の魅力度を高めていく施策を！

**問** 町の定住促進事業の成果と課題についてお聞きする。

**答** **町長** 定住促進補助金を開始した平成27年度は、転入者の住宅補助18件、町内者への住宅補助9件、家賃補助2件、平成28年度は、転入者の補助30件、町内者の補助1件、家賃補助5件、平成29年度は転入者の補助25件、町内者の補助11件、家賃補助6件と年々増

加する傾向にあります。平成27年度から平成30年度の現時点で、定住促進の補助を受けて転入した人の累計が383人、町内にとどまった人の累計が80人で合計463人が芳賀町に住む、あるいは住み続けることになっていきます。課題としては、財政負担がかさむことから国からの交付税に算入される財政措置の動向にも注視しながら、

今後の対策を検討していきます。

**問** 事業のPRの方法は。

**答** **町長** 町外向けには、芳賀町ホームページや全国移住ナビ、ベリーマッチとちぎなどにPR動画を含む定住を促進するための情報を掲載しています。町内向けには、広報紙や芳賀チャンネルなどを活用し、補助制度のPRを行っています。転入者に対しても制度利用の漏れがないよう対応しています。

今後の対策を検討していきます。



## 10年経過した総合情報館 町民目線の運営を！

**問** 総合情報館の目的は、展示や図書

の活用を通じて町の情報発信を行い、町民がより施設を身近に感じることができるとある。今年度の「芳賀町美術展」が情報館展示室で開催されなかった経緯をお聞きする。

**答** **教育長** これまでは平成19年度に開催された総合情報館運営検討委員会の答申に沿って、展示室は町主催の企画展を開催して

いない時期については、町民の作品を展示するギャラリーとして活用していただきました。しかし、展示室を貸館することは資料管理上、適切ではないと指摘を受け、昨年6月の総合

情報館運営協議会に諮り、展示のために一般に開放することは適当ではないとの結論に至り関係者に説明しご理解とご協力を得たところです。

**問** 今後、町民ギャラリーに対応するものとして考えはあるか。

**答** **生涯学習課長** 多目的室や交流ラウンジでも、よりよく展示できるよう長尺パネルを用意し対策を取るように計画しています。

他に地域おこし協力隊について聞きました。



▲総合情報館

# サイクリングロードの整備及び河川堤塘管理について

**問** 3年前に一般質問した北部第2地区

ほ場整備の中で、創設可能な非農用地をアクセス道路、通学路、ロマンの湯から遊水地までを桜堤にするとの考えをいただいたが、ロマンの湯から遊水地間に対し、サイクリングロード、遊歩道を両岸に分離し事故等が発生しないよう整備する必要があると思うがいかがか。

**答** 町長 サイクリングロードについて

は、1級河川五行川、

野元川の堤塘の一部を活用し、両河川あわせて全長約18キロメートルを整備しています。ロマンの湯から遊水地の区間に対し、サイクリングロードと遊歩道を両岸に分離し、事故等が発生しないようにすることについては、当区間においては、五行川左岸に北部第2地区ほ場整備事業によって非農用地を創設し、桜堤及び遊歩道を整備する予定です。遊歩道の位置づけ、利用方法などについては、今後、整備計画を具体的に検討していく中で考えていくことになりま

岡田 年弘 議員

るので、五行川右岸にある、既存のサイクリングロードとの関連性も見ながら、歩行者や自転車利用が安全に通

行できるように配慮していきたくと考えています。

**問** 河川堤塘部分をどのような経緯、また考えのもとでサイクリングロードを整備したのか。

**答** 建設課長 昭和57年、58年、県が五行川にサイクリングロードを整備し、整備後に町が譲渡を受け、その位置づけを、まず、誰もが自然に親しみ気軽に利用できる道路、体力向上による健康増進に役立つ道路、また、河川環境を良好に守れる道路としました。一般道路に比べて安全であることから、学生の通学路としても活用しています。

**問** 除草管理についてサイクリングロードは各自自治会において、除草を実施し、必要に応じてシルバー人材センターに委託し、サイクリングロード以外の堤塘は、多面的機能交付事業とのタイアップを図っていくとのことだが、具体的にどのようなにしていくのか。

度から、芳賀町全域を対象に受益地を申請する予定であり、今まで受益地でなかった祖母井地区についても、北部第2地区ほ場整備事業にあわせて、受益面積を拡大する予定です。その周辺の整備をし、全域で均一的かつ効率的にできる状態にし、自治会連合会、土地改良区、農業委員会から選出されたメンバーで協議会をつくり、芳賀町でどのような事業を行っていくか検討し、考え方や方法を統一していきたいと考えています。

後世に残せる河川及び山林など、景観をつくっていくことも必要ではないか。

**問** 後世に残せる河川及び山林など、景観をつくっていくことも必要ではないか。

**答** 農政課長 多面的交付金事業を活用して、町内を均一的、効率的に環境保全を図っていく一つの案として、県と協議しながら、堤塘に季節の花を植えたり、遊水地の遊歩道とあわせて町内にも名所ができるよう実施に向けて協議したいと考えています。



## 一般質問

# 平成30年度政務活動費の各会派収支報告

政務活動費は、各会派及び議員が町政の課題及び町民の意見を把握し、町政に反映させるための調査研究等の活動に要する経費に対して交付されます。議員1人あたり年額12万円を限度に交付しています。

平成30年度の活動と収支を報告します。

## 芳賀政友会

所属議員 小林信二、大島浩、杉田貞一郎、小林俊夫、小林一男、大根田周平、岡田年弘

交付額 840,000円

支出額 840,000円

活動内容 ●調査研究

【北海道上川郡清水町】

・小学校少人数学級について・幼保・小学校連携について・しみず教育の四季について

【北海道富良野市】

・富良野マルシェの運営について

【岡山県倉敷市】

・地区計画策定について

●図書購入

・栃木県市町村要覧

## 志友会

所属議員 小林隆志、岩村治雄、増渕さつき、北條勲、大根田弘、石川保、水沼孝夫

交付額 840,000円

支出額 673,470円

活動内容 ●調査研究

【大阪府守口市】

・幼児教育、保育料無償化について

【秋田県大館市】

・空き校舎を利活用した企業誘致について・ふるさと納税の協力事業者について

・若年者婚姻支援事業の実績について

●図書購入

・栃木県市町村要覧



▲清水町での視察の様子



▲富良野マルシェでの視察の様子



▲倉敷市での視察の様子



▲倉敷市議会玄関にて



▲守口市での視察の様子



▲大館市役所前にて



藤沼 英之さん  
(祖母井)

## 議会中継を観て

先日、芳賀町議会の一般質問の様子をはがチャンネルで鑑賞しました。現在芳賀町ではLRT事業をはじめ、子育て支援、区画整理や土地改良、祖陽が丘団地などさまざまな施策がなされています。当然議会でもそういった質問がされると思っていました。しかし実際の質問は、前向きな質問もありましたが、一部にはよく理解出来ない質問もありました。我々町民の代表である町会議員の皆さんには建設的な議論を期待しています。もちろん時には厳しい質問も必要だと思います。しかしそれは批判ではなく、芳賀町がより良く発展するためのものでなくてはならないと思います。

よく「政治家は夢を語れ」と言われています。ぜひ芳賀町議会には、町民に夢や希望を与える場であってほしいと願っています。



大村 勝久さん  
(下高根沢)

## 子育て世代の芳賀町

私は、芳賀町で就農し、トマトの栽培をしています。同時に、長男がおり、現在子育て真っ最中でもあります。

近年、芳賀町では、子連れの親達が集まれる施設が充実しつつあり、また、その施設を通じてさまざまなイベントが開催されるなど、子育て世代としてはとても助かっています。

一方で、妊娠出産や子供の病気の時など行ける小児専門の医療施設、産婦人科などがさらに充実することで、より一層安心して子育てに専念できるのではないかと、と思っています。医療環境が整えば、芳賀町は「子育てしやすい町」として、より活気あふれる町になっていくのではないのでしょうか。

私も子育て世代として、町に貢献しながら、責任を持って子育てしていけたらと思います。



小林 英明さん  
(東高橋)

## 利便性の高い公共交通の充実に向け

最近、高齢者が自動車を運転中に操作を誤って事故を起こすニュースをよく耳にします。幸いにも芳賀町では大きな事故などは無く安堵していますが、いつ、町民が被害者や加害者になってもおかしくない時代に突入していると思います。

その背景には、ここ芳賀町で生活するうえで、公共交通が決して利便性の高いものではないため、運転免許証を自主返納するには本人の勇気と家族や周りのサポートが不可欠であり安易に返納できない状況にあると思います。

今後は、現在宇都宮市と共同で整備を進めているLRTを有効に活用し、例えば、祖母井地区までの早期延伸や停留所・トランジットセンターまでの定期バス、デマンドタクシーの運行、高齢者公共交通利用補助金の助成など、高齢者が安心して免許を返納できる利便性の高い公共交通の環境づくりを進めてもらいたいと思います。

## 議会日誌

### 2月

- 4日・定例監査
- 6日・水道運営協議会
- 9日・芳賀赤十字病院竣工記念式典
- 13日・芳賀地区広域行政事務組合出納検査
- 14日・芳賀赤十字病院内覧会
- 15日・議員全員協議会
- 17日・舞踊まつり
- 20日・例月現金出納検査
  - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 22日・議会運営委員会
  - ・県議長会研修会議
- 24日・かがやく町民のつどい
- 26日・芳賀郡中部環境衛生事務組合定例会
  - ・芳賀中部上水道企業団定例会

### 3月

- 1日・芳賀地区広域行政事務組合定例会
- 4日・平成31年第1回芳賀町議会定例会  
(～15日)
  - ・議会広報常任委員会
- 8日・中学校卒業式
- 9日・生涯学習ふれあいまつり、公民館大会
- 10日・県道宇都宮向田線開通式
- 13日・町社会福祉協議会理事会
- 14日・天皇陛下御即位三十年奉祝
- 18日・町農業公社理事会
- 19日・各小学校卒業式
- 20日・例月現金出納検査
  - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 22日・消防二宮分署竣工式
  - ・町政功労者表彰式
- 26日・芳賀台地土地改良区総代会
- 31日・町消防団歓送迎会

### 4月

- 1日・辞令交付式
- 8日・中学校入学式
- 9日・各小学校入学式
  - ・町農業再生協議会総会
- 13日・町体育協会総会
- 18日・例月現金出納検査
- 19日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査

## 表彰

平成31年2月6日開催の全国町村議会議長会定例総会において、町議会議員として15年以上在職し、議会活動を通じ町発展のために大きな役割を果たしたとして、4人の議員が表彰されました。



▲左から大島浩議員、小林信二議員、小林隆志議員、杉田貞一郎議員

## 編集室

平成最後となる、平成31年4月30日、今上天皇の御退位により、5月1日に皇太子殿下が新天皇となられ御即位されます。昭和から平成に元号が変わり、はや30年が経過しようとしています。慣れ親しんできた「平成」の時代を振り返ると、良いことばかりとはいえず、東日本大震災があり、大被害を受け、台風による豪雨も、地震も多く発生しましたが、人間の英知と努力の結集により、乗り

越えようとしています。

令和が新天皇に、また、日本国民、芳賀町民にとっても素晴らしい時代となるようお願いしたいと思います。

新年度以降も、町民皆様の御理解と御協力により素晴らしい「議会たより」となるよう努力してきたいと思います。

(委員 岡田年弘)

### ■議会広報常任委員会

委員 長	小林 俊夫
副委員 長	大根田 弘
委員 岡田 年弘	
委員 石川 保	
委員 北條 勲	



▲かしの森公園付近の桜並木